

【ロス発見後の対処・将来のロスの予防ニーズ】

①機器類交換

固定金具の付け替え、パネルの交換、パワコンの交換といったニーズは今も一定数あります。目視点検や計測によって発見された不具合は、オーナーに報告し然るべき対応者が対応することになりますが、例えばパネル交換などの機器類の交換は、オーナーから施工会社に依頼するケースもあれば、そのままメンテナンス業者に別途見積もりで対応を依頼されるケースもあります。

現在はまだそれほど多くはありませんが、数年後にはこのような依頼が増えてくるでしょう。ただし、パワコンやパネルの交換は設置工事になるので、電気工事士の免許が必要等の条件が出てきますので、確認が必要になります。

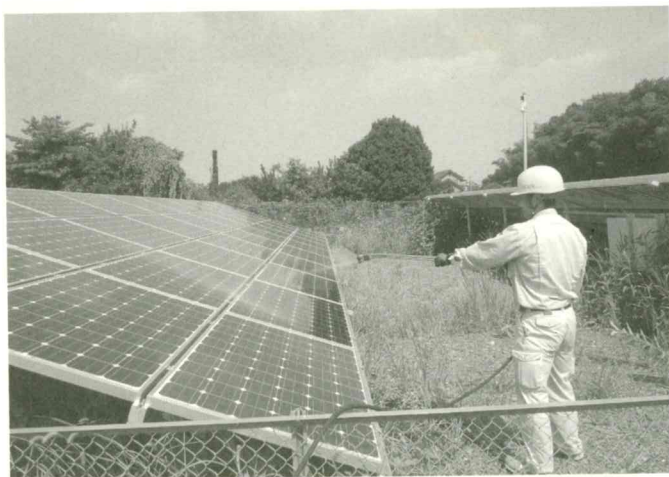
②簡単な補修

固定金具のボルトの増し締め、錆の補修、配線の結束など細かいニーズが現場ごとに出てきます。すぐに発電量に影響の出ないケースがほとんどなので、放置しがちですが、将来大きなロスにつながる可能性もありますので、これも一定のニーズが出てきています。

③パネル洗浄

実際に汚れで発電量が低下するケースは多くはありませんが、工場の上や汚れのひどいエリアの土地設置案件など地域や設置場所によっては、パネル洗浄が必要なケースがあります。汚れによって発電量が大きく低下している場合には、パネルの洗浄が必要になりますので、地域特性を踏まえて提案ができるでしょう（写真4）。

写真4 パネル洗浄



④不具合時の現場駆付け

遠隔監視装置で発電量の低下が見られた場合や台風の後など、現場に急ぎ駆け付けて1次対応するニーズはどの設備でもあります。この現場に駆け付けられる態勢を持つ会社が圧倒的に不足しており、不具合時に現場になかなか行けずにクレームとなったり、例えば東京の本社から出張して九州の発電設備に駆け付けるといったコストの問題に直面しているのが実情です。発電設備の近くにあるメンテナンス業者がすぐに駆け付けられるというニーズは今後も増えてくるでしょう。

●第3章まとめ)))))))

*さまざまなニーズが生まれている。

*発電ロスを早期に発見するための監視体制や定期点検が非常に重要。

*地域や設置場所によっては洗浄や除草といったニーズも多い。

*まだまだ実施者が不足している。



終わりに

今回は、発電設備の実際のメンテナンスニーズについて触れました。ニーズも多様化しており、20年間という売電期間の中で、今後さらにさまざまな要望が出てくるでしょう。当協会でもこれらの現場のニーズを肌で感じており、業界の基準作りや資格者の輩出と同時に、全国規模で現場駆付けサービスのスキームをつくり、エリアごとに駆け付け事業者を募集するなど新たな試みもスタートしています。増え続ける太陽光発電設備のニーズに対応する新規参入の事業者の方も増えていきますので、この機会に太陽光発電メンテナンスマーケットにご注目をいただければと思います。

■この記事に関するお問い合わせ先■
一般社団法人 太陽光発電安全保安協会
〒103-0013
東京都中央区人形町1-11-12
リガーレ日本橋人形町アネックス3F
TEL: 03-6661-0704
FAX: 03-6661-0705
HP: <http://www.j-pma.jp/>